

世界ベンチプレス選手権大会報告

2015年5月20-24日、スツツヴァル、スウェーデン

報告、写真：吉田 寿子

代表的なヨーロッパの街並み。広場と煉瓦造り。



本年度の世界ベンチプレス選手権大会は、スウェーデンのスツツヴァルで開催され、団長の中田和夫氏を中心に、日本選手団は大活躍を見せた。中田団長には、開催期間中、ほとんど食事もとらず、選手のセコンドにあたっていただき、選手一同、大変お世話になった。中田団長には、心の底から感謝を申し上げたい。

また、世界大会という場に参加する素晴らしい機会を頂いた、公益社団法人日本パワーリフティング協会にお礼を申し上げます。

世界チャンピオン

女子52kg級に出場した白川カオリ選手は、127.5kgを上げて、8回目の優勝を果たした。白川選手の20kgシャフトのアップから、世界記録を持つ時まで、その一貫した集中力は、多くの選手が学ぶべきものだ。また、百戦錬磨を経験している白川選手は、アップをした瞬間に、自分の力を知り、ロシアのライバルとの戦い方を考える。拮抗した選手通しの世界タイトルへの挑戦迫力は、見ていて、鳥肌が立つ。

10回目の世界チャンピオンの座を獲得した、男子74kg級、児玉大紀選手。世界の強豪が集まる世界大会で、2位に45kgもの差をつけ、ついに300kgの壁を74kg級にまで下げた実力には、世界中が脱帽していた。観客席から、舞台そでから、中田団長とともに、日本の選手が一つでも上位に行くよう、作戦指示を飛ばしている姿には、K's代表として、長年の世界のトップを走ってきた選手として、貫録十分であった。

いつもにこやかな83kg級の福島勇輝選手は、ロシアのライバルとの一騎打ちとなった。302.5kgのスタート重量がやや重かった福島選手は、二本目を慎重に2.5kgアップに留め、ライバルの出方を待つ。ライバル、福島選手ともに305kgに成功し、体



選手の活躍を待つ、ベンチ台。

中田団長を中心に日本チーム作戦会議



重が軽いライバルが暫定一位。ここで、三本目をどうするのだろうか、固唾をのんで見る。307.5 k g か、310 k g か。

セコンド陣の見る目が勝敗を分ける。

ライバル選手の力量は、307.5 k g か、310 k g か、あるいは、それ以上か。おそらく310 k g がギリギリか？ともかく、福島選手は310 k g を選び、これを上げないことには、どうしようもない。これを福島選手、見事に成功。

ライバルが失敗して、74 k g 級に続いて、83 k g 級でも、君が代が流れる。

サブジュニア部門では、男子59 k g 級の村田元輝選手が155 k g で優勝、105 k g 級の藤本竜希選手が295 k g で、120 k g 級の須藤健介選手が222.5 k g をマークして優勝した。

このカテゴリー、将来のベンチプレス界を担う選手達の登場となった。

サブジュニア部門でベストリフターに輝いた藤本選手は、2000年生まれのまだ15歳。「兒玉選手もすごいが、藤本選手が一番印象深かった」と、IPF 役員は、藤本選手に大きな期待を寄せていた。

ジュニア部門では、男子66 k g 級は、大接戦が展開された。日本の岡田治也選手、水野瑛選手、そしてアメリカ



日本選手団、一致団結して観客席から応援と、セコンドとしても檄を飛ばす

脅威の15歳藤本選手。地元新聞の取材に応じる。



の三選手が、三人ともにジュニア世界新記録をマークし、わずかに500gずつの差で勝負が決まった。1位は岡田選手で214kg、二位はアメリカで213.4kg。三位は水野選手で213kgをマークした。このような試合展開で、セコンド陣も頭を使い、体を使い、気を使い、そして、作戦勝ち。このクラスのワン、スリーフィニッシュは、ひよっとしたら選手よりも嬉しかったかもしれない。

83kg級では日本の長谷川直輝選手が抜きこんでいた。第一試技しか取れなかったが、それでも、2位に10kg以上の差をつけて、優勝した。

団体優勝ならず

団体優勝を目標に世界制覇を狙っていた日本。

番狂わせは一般男子66kg級で起こった。常に接戦を繰り返す、高橋恵介選手と中山久幸選手。日本でも、世界でも戦い続けてきた。調子がよいと聞いていた高橋選手。一本目230kg、惜しくも失敗。男子59kg級の木村選手の不参加で、繰り上げ参加となった中山選手。50歳代に入って、ますます、元気。怪我からの復帰もなっていたので、スタート重量を心配なく見ていたら、なんと、225kgに失敗。2、3本目も同重量に挑戦したが、二人とも、失敗。失格となってしまった。この瞬間に、団体優勝は、ロシアが持つていく。

今回、団体で一番良かったのは、男子ジュニア部門で、日本は二位。

ベンチ王国日本！まだまだチャンスあり！来年を期したい。

マスターズ世界新記録の樹立

自己記録では、300kgを上回る力のある、一般男子105kg級に参加した和田高平選手。マスター2の世界新記録となる292.5kgを上げて、一般の部7位となった。三本目には、自己新記録、日本新記録となる305kgに挑んだが、惜しくも失敗。

男子120kgエントリーの上田真司選手のクラスでは、日本選手団が一丸となって、応援を繰り広げた。ロシア、



一般女子52kg級で残念顔のロシア（写真左）に競り勝った、さわやか白川選手（写真中央）

アップ場では、みんなが協力



スウェーデンそして上田選手と力は接近しており、世界記録樹立合戦となった。

まず上田選手が、スタートで 330 k g の世界マスターズ 1 新記録を樹立。二本目に上田選手は、337.5 k g の一般男子の世界記録を樹立、そのすぐ後に、スウェーデンが 342.5kg をマークして世界記録を奪還する。三本目では、同じく、242.5 k g に上田選手が挑むが惜しくも失敗。ロシアが 243 k g に成功。スウェーデンが 243.5 k g に成功。結果、一位ロシア、二位スウェーデン、三位上田選手となった。

パラリンピック競技では、パワーリフティング（ベンチプレス）

は 1 k g 単位となっている。ジュニア男子 66 k g の戦いや、上田選手のクラスの戦いを見ていると、1 k g 単位の争いの方が、駆け引きの幅が広がって面白いのかな、と、そんな感想を持ちながら熱戦を見つめた。

銀メダリスト

極度の緊張に見舞われていたジュニア 57 k g 級出場の藤原のどか選手。中田団長のアドバイスを受けて落ち着いて、落ち着いて、と言い聞かせながら試合に挑む。一本目失敗、二本目で 110 k g を取り、三本目では、優勝狙いの逆転をかけて、122.5 k g に挑戦。こちらは惜しくも失敗だったが、二位をしっかりと確保した。



「バー イズ ローデッド！」選手は、それぞれの思い、緊張感を持って、ベンチ台に向かう。

銅メダリスト

ジュニア 47 k g 級の入船美月選手が、試技を三本成功させ、記録 70 k g で、二位と同記録体重差で 3 位を獲得した。

一般の部に出場の新井拓子選手は、二本目の 105 k g に失敗したものの、三本目で取り返し、ロシアを交わして銅メダルを獲得した。

男子 59 k g 級では、木村和正選手が、三本目の二位逆転はならなかったが、150 k g で 3 位に食い込んだ。また、減量して 74 k g 級に出場した、村野知永選手は、210 k g を上げて堂々、銅メダルを獲得した。

K's GYM の作戦

日頃、ジム内で切磋琢磨の接戦を繰り返しながら、トレーニングをしておられるのだろう。

K's ジムの児玉代表を始め、第一でどれくらいを取り、第二からは、どのような作戦を。第三では相手をビビらせながら、こちらの順位を上げていく。世界選手権の間中、K's ジムの作戦がさく裂していた。

ジュニア男子 93 k g 級の五十嵐大輝選手は、スタートが一番低かったものの、一人交わして、8 位に入った。

女子ジュニア 63 k g 級、石橋茜選手。スタート重量では、7 位の最下位にいた。それが、絶妙の試技選びで、他の選手が続々失敗し、そのたびに石橋選手の順位が面白いように上がっていき、4 位となった。メダルはならなかったが、「ビリから 4 位にまで上がったので、セコンドとしては一応満足」と、児玉 K'S 代表が話していた。

第一試技のみ成功、逆転失敗

一般女子 72 k g 級の溝口久美選手も、強豪を相手に、何とかメダル獲得をと、挑んだが、惜しくも第一試技しか取れず、130 k g をマークして 5 位となった。

男子 93 k g 級、大室剛楓選手は、ジュニアながら一般の部に出場。3 位を目指したが、一本目の 270 しか取れず、男子 120 k g 級の梶井俊宏選手は、上田選手に続いて 4 位以上に入ることを目指したが、第二、第三を失敗し、記録 300 k g で 8 位となった。



ついに世界は 400k ベンチに突入

一本目、二本目失敗でヒヤリ

女子サブジュニア、高校生の小林展代選手は、一本目、二本目と、クックと上がる感じで、失敗。三本目に成功してホッと、4位となった。一緒に舞台下で応援していた選手たちが、日本では、バー一本分下がったら、失敗、という解釈だが、少しでも下がったら、赤判定なのだね、と、話していた。私も JPA 技術委員会からの解釈を見たときに、そのように解釈していたが、阿南技術委員長は、そのような通達をした覚えはなく、日本でも少しでも下がったら、失敗ですよ、と、話しておられた。傾いても一連のバーの動きがあれば、成功という事だった。私は審判として出席したが、中々、文章だけではわからない解釈が、現場に来てみると、理解でき、勉強になる。また、もう一つ、日本（東京）では、袖の先ところを縫いきるような縫い方は、不可、という風に解釈されていたが、ロシアの選手のほとんどは、縫い切る縮め方をしていた。こちらも、阿南技術委員長に確認したところ、そのような通達を出した覚えはなく、ベンチシャツの袖を縫い切って縮めても違反ではない、という事だった。ちなみに、コスチュームチェックを担当していて、ベンチシャツの袖を詰めているのは、ロシアと日本選手だけだった。

ジュニア男子83kg級に出場した佐藤紳一郎選手は、182.5kg 1, 2本とも上がらず、三本目に185kgに増量して、一気にあげ、失格を免れ、5位に入賞した。なかなか、クラシックの試合では、このような状態は少ないとおもわれるが、ギアの試合では時々見かける。テクニックというか、ギアの使い方というか、奥が深くて、学ぶべきことが多い、面白い。

残念、失格

サブジュニア男子93kg級に出場の柏木悠太郎選手は、180kgから出たが、こちらを失敗。同重量の第二試合も失敗。第三では185kgに挙げて、シャツを調整して挑んだが失敗。気の毒なくらい、がっかりしておられた。試合の後半には元気を取り戻し、次は絶対頑張ると言っておられたので、少し安心する。

ジュニア男子74kg級の高山由成選手は、190kgでスタート。これを失敗。柏木選手と作戦的には同じで、第二も同じ重量で失敗。第三は、205kgに挙げて、これを取って何とか上位陣に食い込みたいところだったが、残念ながら失敗。

こうして、悲喜こもごも、試合は終了した。若い世代とトップ選手と一緒に戦う事で、次世代の選手たちの大きな励みになっていると思う。スーパーヘビー級では、ついに、記録が400kg台に入り、フィンランドのフレデリックが401kgの世界新記録をマークして優勝、アメリカのジョナサン選手も401.5kgを押し切るものの、赤判定。女子では、84kg以上級の選手全員が、体重100kg以上。とてもかわいらしい目をした地元スウェーデンのサンドラ選手が、235kgの世界記録で優勝した。

最終日は、史上初の400kgオーバーのベンチが見られると大人気で、観客席は、満杯。記録を追及することは、選手にとっても、観客にとっても、心の底から、愉快的な事であるようだ。



中田団長と作戦会議、水野選手。



みんなの気合をもらって、舞台上がる白川選手。

World Men's Bench Press Championships, Sundsvall (Sweden), 20-24.05.2015

資料; IPFホームページより

男子の部

Open

-59kg

1	Smirnov Oleg	1990	RUS	57,51	185,0	190,0	200,0	190,0
2	Wszola Dariusz	1978	POL	58,64	172,5	177,5	182,5	182,5
3	Sledz Slawomir	1976	POL	58,50	170,0	177,5	180,0	180,0
4	Johnson Jesse	1990	GBR	58,12	95,0	102,5	107,5	107,5

-66kg

1	Chuprinko Ivan	1986	UKR	65,93	230,0	235,0	239,5	239,5
2	Urusov Yan	1989	RUS	65,67	217,5	227,5	239,5	227,5
3	Virgilio Manuel	1974	FRA	65,96	217,5	225,0-c1	230,0	225,0
4	Balawejder Adam	1981	POL	65,99	210,0	220,0	227,5	210,0
—	Nakayama Hisayuki	1963	JPN	63,81	225,0	225,0	225,0	DSQ
—	Takahashi Keisuke	1973	JPN	65,51	230,0	230,0	230,0	DSQ
—	Batgerel Bayarbaatar	1991	MGL	65,97	195,0	195,0	195,0	DSQ

-74kg

1	Kodama Daiki	1979	JPN	73,08	260,0	276,0-w	300,0-w	300,0
2	Butenko Oleg	1983	KAZ	73,56	245,0	250,0	255,0	255,0
3	Miller Daniel	1988	POL	73,68	245,0	255,0	260,0	255,0
4	Mashinskiy Arthur	1987	RUS	73,74	245,0	245,0	257,5	245,0
5	Schick Markus	1976	GER	73,92	230,0	237,5	252,5	230,0
6	Shliakhta Oleksandr	1979	UKR	73,62	220,0	220,0	220,0	220,0
7	Guenterberg Raik	1989	GER	73,82	205,0	215,0	220,0	215,0
—	Yasonau Pavel	1985	BLR	71,86	225,0	225,0	230,0	DSQ
—	Selberg Amit	1976	SWE	73,66	255,0	255,0	257,5	DSQ

-83kg

1	Fukushima Yuki	1986	JPN	81,52	302,5	305,0	310,0-w	310,0
2	Kniazev Sergey	1976	RUS	79,36	300,0	305,0	310,0	305,0
3	Shokhanov Askar	1983	KAZ	82,22	280,0	280,0	305,5	280,0
4	Hanifen Luke	1981	USA	82,58	242,5	250,0	282,5	250,0
5	Ciupinski Mike	1979	USA	82,64	237,5	245,0	252,5	245,0
6	Vikla Tomi	1970	FIN	82,86	242,5	245,0	245,0	245,0
7	Beck-Gundersen Kim	1985	NOR	81,06	230,0	242,5	242,5	230,0
8	Friche Mads	1982	DEN	82,24	215,0	220,0	220,0	220,0
9	Lohan Aaron	1983	GBR	82,74	200,0	210,0	217,5	217,5

-93kg

1	Mamola Adam	1977	USA	92,12	310,0	312,5	346,0	312,5
2	Wegiera Jan	1965	POL	92,68	300,0-w2	307,5-w1	320,0	307,5
3	Kankkonen Simon	1982	FIN	92,62	275,0	275,0	297,5	297,5
4	Bettiar Volodymyr	1984	UKR	92,94	292,5	297,5	305,0	297,5
5	Jader Fredrick	1979	SWE	92,76	295,0	302,5	302,5	295,0
6	Krymov Andrii	1985	UKR	92,86	295,0	302,5	302,5	295,0
7	Kiselev Valentin	1987	RUS	90,48	290,0	290,0	302,5	290,0
8	Tebenkov Eduard	1990	RUS	91,30	290,0	300,0	305,0	290,0
9	Omuro Goki	1993	JPN	91,22	270,0	292,5	297,5	270,0
10	Navarsete Tommy	1978	NOR	91,40	255,0	255,0	267,5	267,5
11	Shuurai Chanrav	1989	MGL	92,44	265,0	265,0	272,5	265,0
12	Wetzstein Thomas	1974	AUT	91,52	255,0	265,0	265,0	255,0
13	Navarsete Roger	1990	NOR	91,64	255,0	260,0	270,0	255,0
14	Hildebrandt Michael	1984	GER	92,26	235,0	245,0	252,5	245,0
15	Kitsui Masahito	1978	HKG	92,30	245,0	260,0	272,5	245,0
—	Hajiaghazorg Majid	1978	IRI	92,54	265,0	265,0	265,0	DSQ
—	Lamjav Munkhbayar	1976	MGL	92,82	290,0	290,0	290,0	DSQ

-105kg

1	Dovganyuk Vadym	1987	UKR	104,40	317,5	327,5	335,5	335,5
2	Grishaev Vladimir	1981	RUS	103,96	310,0	322,5	335,0	322,5
3	Jamroz Stefan	1980	SWE	104,52	315,0	320,0	330,0	320,0
4	Stasevich Aliaksei	1986	BLR	104,22	312,5	315,0	322,5	315,0

5	Grenier Allan	1990	FRA	104,92	300,0	300,0	325,0	300,0
6	Dashzegve Tumenjargal	1987	MGL	103,16	295,0	295,0	315,0	295,0
7	Wada Kohei	1964	JPN	104,14	292,5	292,5-w2	305,0	292,5
8	Obcowski Tomasz	1979	POL	103,16	290,0	300,0	300,0	290,0
9	Karlsson Patrik	1987	SWE	104,30	290,0	290,0	290,0	290,0
10	Khuder Enkhbold	1985	MGL	103,36	285,0	285,0	297,5	285,0
11	Selinger Milan	1984	CZE	104,96	255,0	265,0	272,5	272,5
—	Janse v Rensburg Heinrich	1986	RSA	100,32	200,0	200,0	200,0	DSQ
—	Anderson Timothy	1972	USA	101,80	300,0	300,0	300,0	DSQ
—	Vaigant Sergey	1989	KAZ	102,00	312,5	312,5	327,5	DSQ

-120kg

1	Selezen Sergey	1980	RUS	119,72	315,0	327,5	343,0-w	343,0
2	Oberg Christoffer	1985	SWE	118,78	330,0	342,5-w	343,5	342,5
3	Ueda Shinji	1972	JPN	117,64	330,0-w1	337,5-w	342,5	337,5
4	Stewart Brady	1982	USA	118,24	320,0	325,0	332,5	332,5
5	Auerbach Jeremy	1987	USA	117,86	312,5	320,0	330,0	330,0
6	Hole Per Marius	1989	NOR	118,74	330,0	335,0	335,0	330,0
7	Larsson Markus	1974	SWE	118,74	300,0	300,0	302,5	302,5
8	Kajii Toshihiro	1980	JPN	116,82	300,0	315,0	330,0	300,0
9	Matejik Fridrich	1983	SVK	119,82	285,0	300,0	300,0	285,0
—	Myller Jarmo	1968	FIN	118,86	320,0	332,5	335,0	DSQ
—	Bataa Chimedtseren	1981	MGL	119,20	312,5	312,5	312,5	DSQ
—	Bujinkham Altangerel	1976	MGL	119,86	330,0	330,0	337,5	DSQ

120+kg

1	Smulter Fredrik	1983	FIN	153,22	401,0-w	405,0	405,0	401,0
2	Leo Jonathan	1977	USA	154,52	390,0	390,0	401,5	390,0
3	Sandvik Kenneth	1975	FIN	142,66	345,0	350,0	360,0-w1	360,0
4	McCull Alastair	1981	NOR	142,86	340,0	347,5	352,5	347,5
5	Soukal Jaroslav	1972	CZE	162,98	325,0	337,5	340,0	340,0
6	Baxter Nathan	1977	AUS	180,48	340,0	340,0	352,5	340,0
7	Pettersson Niklas	1991	SWE	145,36	302,5	310,0	320,0	310,0
8	Carrillo Ryan	1991	USA	155,46	300,0	310,0	320,0	300,0
9	Parvaresh Rooh Mostafa	1981	IRI	132,08	255,0	267,5	272,5	272,5
—	Svensson Fredrik	1979	SWE	157,12	395,0	395,0	401,5	DSQ

Nation (points)

1.	Russia	51	[12+12+9+9+9]	947,94 w.pts.
2.	Ukraine	41	[12+12+7+5+5]	920,35 w.pts.
3.	U.S.America	41	[12+9+7+7+6]	961,84 w.pts.
4.	Poland	41	[9+9+8+8+7]	858,51 w.pts.
5.	Japan	39	[12+12+8+4+3]	970,81 w.pts.
6.	Finland	33	[12+8+8+5]	772,78 w.pts.
7.	Sweden	31	[9+8+6+4+4]	921,12 w.pts.

Best Lifters of Open

PL.	Lifter	Nation	B.Weight	Result	W.Points
1	Smulter Fredrik	Finland	153,22	401,0	221,19
2	Kodama Daiki	Japan	73,08	300,0	217,74
3	Leo Jonathan	U.S.America	154,52	390,0	214,89

Sub-Juniors

-53kg

1	Bexeiit Sultan	1998	KAZ	52,00	115,0	120,0	130,0	130,0
2	Sergienko Sergei	1997	RUS	52,08	117,5	122,5	132,5	122,5
3	Saldana Jorge	1997	USA	52,76	100,0	107,5	122,5	107,5
4	Devine Matthew	1997	USA	51,42	92,5	95,0	107,5	95,0

-59kg

1	Murata Motoki	1997	JPN	58,52	155,0	173,0	173,0	155,0
2	Rikhter Aleksey	1998	RUS	58,36	127,5	132,5	137,5	137,5
3	Porebny Pawel	1997	POL	58,54	115,0	130,0	135,0	115,0

4	Binder Markus	1998	AUT	58,74	95,0	102,5	102,5	102,5
-66kg								
1	Tulegenov Kuanyshbay	1998	KAZ	64,96	147,5	155,0	162,5	162,5
2	Kurnakin Konstantin	1997	RUS	62,84	145,0	152,5	160,0	152,5
3	Iuldashev Nail	1997	RUS	63,94	145,0	147,5	155,0	147,5
4	Vilcins Janis	1997	LAT	65,88	125,0	132,5	150,0	132,5
-74kg								
1	Shaukatov Zhavlan	1998	KAZ	72,98	160,0	172,5	180,0	172,5
2	Maleiko Vadim	1998	RUS	71,66	165,0	165,0	165,0	165,0
3	Haubert Sawyer	1997	USA	70,96	160,0	160,0	172,5	160,0
4	Syed Jared	1997	GBR	72,94	160,0	170,0	170,0	160,0
-83kg								
1	Glowienke Szymon	1997	POL	81,78	185,0	192,5	197,5	197,5
2	Kojder Michal	1997	POL	81,68	180,0	195,0	195,0	195,0
—	Vandaver Charles	1997	USA	80,48	162,5	162,5	162,5	DSQ
-93kg								
1	Grzegorzczuk Dawid	1998	POL	92,60	220,0	230,0	237,5-ws	237,5
2	Zalotov Artur	1998	UKR	91,14	227,5	235,0	237,5	227,5
3	Poplygin Prokhor	1997	RUS	92,70	215,0	222,5	233,0	222,5
4	Bodell Rasmus	1997	SWE	91,16	170,0	180,0	185,0	170,0
—	Kashiwagi Yutaro	1997	JPN	91,26	180,0	180,0	185,0	DSQ
-105kg								
1	Fujimoto Ryuki	2000	JPN	104,70	260,0-ws	270,0-ws	295,0-wj	295,0
2	Jagiello Kamil	1998	POL	93,60	205,0	235,0	235,0	205,0
3	Cowman Mitchell	1997	USA	104,30	195,0	197,5	200,0	200,0
4	Kudrautsau Aleh	1998	LAT	102,50	192,5	195,0	197,5	197,5
-120kg								
1	Suto Kensuke	1997	JPN	118,14	210,0	215,0	222,5	222,5
2	Osadchiy Evgeniy	1997	RUS	119,52	212,5	212,5	225,0	212,5
120+kg								
1	Tretyn Martin	1999	POL	140,40	175,0	175,0	200,0	175,0
2	Peterson Eli	1997	USA	140,18	130,0	135,0	175,0	135,0

Nation (points)

1.	Poland	54	[12+12+12+9+9]	640,10 w.pts.
2.	Russia	45	[9+9+9+9+9]	608,93 w.pts.
3.	U.S.America	40	[9+8+8+8+7]	512,13 w.pts.
4.	Japan	36	[12+12+12]	440,16 w.pts.
5.	Kazakhstan	36	[12+12+12]	382,17 w.pts.
6.	Latvia	14	[7+7]	223,25 w.pts.

Best Lifters of Subjuniors

PL.	Lifter	Nation	B.Weight	Result	W.Points
1	Fujimoto Ryuki	Japan	104,70	295,0	176,47
2	Grzegorzczuk Dawid	Poland	92,60	237,5	149,51
3	Zalotov Artur	Ukraine	91,14	227,5	144,33

Juniors

-53kg								
1	Gigout Gabriel	1996	USA	51,38	132,5	135,0	145,0	135,0
2	Klimenko Georgii	1995	RUS	52,74	132,5	132,5	145,0	132,5
-59kg								
1	Balabanov Ruslan	1996	RUS	58,76	165,0	167,5	190,5	167,5
2	Makhmudov Alisher	1995	KAZ	58,80	160,0	167,5	170,0	160,0
3	Kimura Kazumasa	1994	JPN	58,88	145,0	150,0	162,5	150,0
4	Hadas Pawel	1993	POL	57,18	132,5	132,5	132,5	132,5
5	Sullivan Garth	1992	USA	58,34	132,5	145,0	150,0	132,5
-66kg								
1	Okada Haruya	1996	JPN	65,84	205,0	210,0-wj	214,0-wj	214,0
2	Nguyen Kenny	1995	USA	64,64	205,0	212,5-wj	213,5-wj	213,5

3	Mizuno Yo	1992	JPN	65,18	195,0	202,5	213,0-wj	213,0
4	Paszko Andrzej	1994	POL	65,82	175,0	180,0	185,0	180,0
5	Bakhshiev Roman	1993	RUS	65,96	180,0	192,5	192,5	180,0
6	Caron Cyril	1994	FRA	64,66	160,0	170,0	175,0	175,0
7	Pecho Roman	1995	SVK	64,90	165,0	175,0	182,5	175,0
8	Dorokhov Andrey	1992	KAZ	65,46	175,0	182,5	182,5	175,0
9	Hartung Patrick	1994	GER	65,68	160,0	170,0	180,0	170,0
-74kg								
1	Dolgov Pavel	1993	RUS	73,12	210,0	220,0	232,5	232,5
2	Lehew Stephen	1995	USA	73,52	205,0	212,5	222,5	212,5
3	Murano Tomohisa	1994	JPN	72,62	205,0	210,0	227,5	210,0
4	Krysa Yevgen	1993	UKR	73,12	210,0	210,0	220,0	210,0
5	Eriksson Alexander	1994	SWE	73,84	197,5	207,5	222,5	207,5
6	Timofejevs Sergejs	1994	LAT	73,06	202,5	210,0	212,5	202,5
7	Lippo Pietu	1992	FIN	73,40	195,0	195,0	195,0	195,0
8	Otgondulam Sugar	1993	MGL	73,50	190,0	200,0	200,0	190,0
9	Cardy Lyle	1992	NZL	73,24	140,0	150,0	150,0	140,0
—	Takayama Yoshinari	1993	JPN	73,48	190,0	190,0	205,0	DSQ
—	Bakken Sebastian Baudon	1993	NOR	73,68	195,0	195,0	195,0	DSQ
—	Hallfors Teemu	1995	FIN	73,70	192,5	195,0	197,5	DSQ
-83kg								
1	Hasegawa Naoki	1992	JPN	82,46	240,0	250,0	261,0	240,0
2	Ryzhkov Andrey	1992	RUS	82,70	220,0	227,5	242,5	227,5
3	Schuster Easton	1996	USA	81,96	205,0	220,0	227,5	220,0
4	Reiss Andrew	1994	USA	81,90	200,0	205,0	220,0	205,0
5	Sato Shinichiro	1993	JPN	81,72	182,5	182,5	185,0	185,0
6	Granheim Sondre	1993	NOR	82,30	185,0	192,5	197,5	185,0
7	Gronschel Sebastian	1992	GER	82,02	180,0	192,5	192,5	180,0
—	Czerwinski Szymon	1996	POL	82,46	205,0	205,0	207,5	DSQ
-93kg								
1	Hintzke Mariusz	1994	POL	92,50	280,0	280,0	286,0	280,0
2	Vanshin Nikita	1992	RUS	92,72	250,0	255,0	282,5	255,0
3	Pena Richard	1994	USA	92,12	235,0	240,0	245,0	245,0
4	Male Ralf	1994	NOR	91,72	232,5	237,5	242,5	242,5
5	Eriksson Josef	1992	SWE	91,92	237,5	242,5	247,5	242,5
6	Riekstins Marks	1993	LAT	92,40	227,5	237,5	247,5	237,5
7	Guillory James	1994	USA	83,50	212,5	220,0	232,5	232,5
8	Igarashi Daiki	1996	JPN	91,56	180,0	200,0	207,5	207,5
9	Christensen Alexander	1992	DEN	91,02	197,5	205,0	215,0	205,0
-105kg								
1	Fredriksen Erik	1992	NOR	102,02	252,5	262,5	272,5	272,5
2	Degtyarev Sergey	1992	RUS	103,16	255,0	265,0	272,5	272,5
3	Sypka Kamil	1994	POL	100,40	220,0	240,0	257,5	257,5
4	Martinsson Christian	1993	SWE	103,74	257,5	267,5	267,5	257,5
5	Lindseth Joachim	1992	NOR	104,46	245,0	252,5	260,0	252,5
6	Staszuk Dawid	1993	POL	104,40	240,0	250,0	260,0	250,0
7	Hansson Conrad	1994	SWE	101,98	245,0	250,0	257,5	245,0
8	Vasyliiev Yevhen	1993	UKR	104,68	240,0	250,0	250,0	240,0
9	Amarsaikhan Nyamdorj	1992	MGL	102,72	220,0	220,0	220,0	220,0
10	Haerter Daniel	1995	GER	103,68	210,0	220,0	222,5	210,0
-120kg								
1	Jaeger Kevin	1995	GER	118,46	315,0	333,5-w	340,5	333,5
2	Covington Richard	1993	USA	117,32	262,5	265,0	272,5	272,5
3	Mainz Jacob	1993	DEN	118,94	250,0	265,0	270,0	265,0
4	Fahlqvist Adrian	1996	SWE	118,44	200,0	212,5	212,5	200,0
120+kg								
1	Nilsson Calle	1996	SWE	121,70	295,0	295,0	295,0	295,0
2	Korczynski Patryk	1994	POL	127,02	265,0	270,0	272,5	272,5
3	Mellor Graham	1994	GBR	158,46	250,0	267,5	272,5	272,5

4	Gestsson Viktor Ben	1996	ISL	132,10	250,0	260,0	270,0	270,0
5	Merenyi Joachim	1994	NOR	138,30	260,0	270,0	275,0	270,0

Nation (points)

1.	Russia	51	[12+12+9+9+9]	790,80 w.pts.
2.	Japan	48	[12+12+8+8+8]	781,47 w.pts.
3.	U.S.America	47	[12+9+9+9+8]	770,44 w.pts.
4.	Poland	43	[12+9+8+7+7]	747,46 w.pts.
5.	Sweden	38	[12+7+7+6+6]	741,60 w.pts.
6.	Norway	36	[12+7+6+6+5]	744,33 w.pts.
7.	Germany	19	[12+4+2+1]	573,42 w.pts.
8.	Kazakhstan	12	[9+3]	277,36 w.pts.
9.	Denmark	10	[8+2]	282,80 w.pts.
10.	Ukraine	10	[7+3]	295,92 w.pts.
11.	Latvia	10	[5+5]	296,64 w.pts.
12.	Great Britain	8	[8]	149,60 w.pts.
13.	Iceland	7	[7]	152,28 w.pts.
14.	France	5	[5]	139,77 w.pts.
15.	Mongolia	5	[3+2]	269,84 w.pts.
16.	Finland	4	[4]	141,08 w.pts.
17.	Slovakia	4	[4]	139,34 w.pts.
18.	New Zealand	2	[2]	101,44 w.pts.

Best Lifters of Juniors

PL.	Lifter	Nation	B.Weight	Result	W.Points
1	Jaeger Kevin	Germany	118,46	333,5	192,33
2	Hintzke Mariusz	Poland	92,50	280,0	176,34
3	Nguyen Kenny	U.S.America	64,64	213,5	170,57

女子の部

Open

-47kg

1	Kozdryk Justyna	1980	POL	45,60	110,0	115,0	117,5	117,5
2	Schwengl-Forsthuber Ilka	1965	AUT	46,48	105,0-c2	107,5-c2	110,0-w2	110,0
3	Arai Hiroko	1963	JPN	46,30	100,0	105,0	105,0	105,0
4	Simonians Karina	1977	RUS	46,74	95,0	100,0	102,5	100,0
5	Zigler Ana	1987	USA	46,34	77,5	80,0	80,0	77,5
—	Martin Yvelise	1982	FRA	46,58	90,0	90,0	90,0	DSQ

-52kg

1	Nagaya-Shirakawa Kaori	1963	JPN	51,52	122,5	127,5	138,5	127,5
2	Zadorina Yana	1982	RUS	50,83	120,0	125,0	132,5	125,0
3	Sandvik Marcela	1974	FIN	51,38	105,0	110,0	117,5	110,0
4	Najera Juanita	1981	USA	51,28	90,0	97,5	110,0	90,0

-57kg

1	Kotkova Larisa	1974	RUS	55,30	140,0-w1	145,0-w1	152,5-w1	152,5
2	Petrova Anastasia	1985	RUS	56,34	135,0	142,5	152,5	142,5
3	Eriksson Nina	1989	SWE	56,22	127,5	135,0	142,5	135,0
4	Shuttleworth Maura	1976	USA	54,72	105,0	112,5	135,0	112,5
5	Anthouard Melodie	1988	FRA	56,60	112,5	122,5	122,5	112,5
6	Rasmussen Mette	1985	DEN	56,76	90,0	90,0	95,0	95,0
7	Jordan Faye	1982	GBR	56,56	82,5	87,5	92,5	87,5

-63kg

1	Dubenskaya Maria	1988	RUS	62,64	150,0	160,0	165,0	160,0
2	Gonchar Ganna	1993	UKR	57,32	120,0	120,0	125,0	125,0
3	Arvidson Karolina	1985	SWE	61,84	120,0	125,0	125,0	125,0
4	Andersen Erika	1991	DEN	62,62	100,0	107,5	107,5	100,0
5	Loja Krisztina	1979	HUN	62,60	82,5	90,0	100,0	90,0
—	Werngren Josephine	1976	SWE	61,84	122,5	122,5	122,5	DSQ

-72kg

1	Chistiakova Yulia	1989	RUS	71,92	162,5	170,0	175,5-w	175,5
---	-------------------	------	-----	-------	-------	-------	---------	-------

2	Medvedeva Yulia	1986	RUS	66,72	160,0	167,5	172,5	172,5
3	Timmers Ankie	1986	NED	71,26	150,0	150,0	160,0	160,0
4	Hammarstrom Andrea	1977	SWE	70,00	152,5	157,5	157,5	157,5
5	Mizoguchi Kumi	1988	JPN	70,06	130,0	137,5	155,0	130,0
6	Sebastian Sandra	1986	USA	69,10	115,0	120,0	120,0	115,0
—	Wienroither Bianca	1984	AUT	70,42	125,0	125,0	125,0	DSQ

-84kg

1	Strik Ielja	1973	NED	83,76	175,0	185,0	190,0-w1	190,0
2	Walker Tammy	1968	USA	82,42	155,0	165,0	175,0	155,0
3	Wik Frida	1991	SWE	77,04	140,0	145,0	155,0	145,0
4	Kristensen Kathrine	1987	DEN	83,92	127,5	132,5	132,5	127,5
5	Tichy Alexandra	1990	AUT	82,50	115,0	125,0	132,5	125,0
—	Johansson Maria	1984	SWE	82,72	160,0	160,0	160,0	DSQ

84+kg

1	Lonn Sandra	1974	SWE	109,72	210,0	227,5-w	235,0-w	235,0
2	Szabo Agnes	1988	HUN	108,10	175,0	185,0	195,0	185,0
3	Rehoff Christensen Anette	1965	DEN	125,42	167,5-c2	177,5-w2	187,5	177,5
4	Dickens Jade	1974	USA	106,58	135,0	150,0	177,5	150,0
5	Dzurnak Stephenie	1983	USA	125,70	125,0	145,0	180,0	145,0
—	Lombosi Melinda	1978	HUN	123,30	195,0	195,0	195,0	DSQ

Nation (points)

1.	Russia	54	[12+12+12+9+9]	869,62 w.pts.
2.	Sweden	43	[12+8+8+8+7]	777,96 w.pts.
3.	U.S.America	36	[9+7+7+7+6]	625,58 w.pts.
4.	Denmark	27	[8+7+7+5]	473,07 w.pts.
5.	Japan	26	[12+8+6]	432,08 w.pts.
6.	Netherlands	20	[12+8]	326,92 w.pts.
7.	Austria	15	[9+6]	261,63 w.pts.
8.	Hungary	15	[9+6]	248,11 w.pts.
9.	Poland	12	[12]	161,46 w.pts.
10.	Ukraine	9	[9]	144,41 w.pts.
11.	Finland	8	[8]	138,40 w.pts.
12.	France	6	[6]	131,26 w.pts.
13.	Great Britain	4	[4]	102,16 w.pts.

Best Lifters of Open

PL.	Lifter	Nation	B.Weight	Result	W.Points
1	Lonn Sandra	Sweden	109,72	235,0	191,17
2	Kotkova Larisa	Russia	55,30	152,5	181,22
3	Medvedeva Yulia	Russia	66,72	172,5	177,54

Sub-Juniors

-43kg

1	Suntsova Alexandra	1998	RUS	42,28	50,0	60,0	70,0	60,0
---	--------------------	------	-----	-------	------	------	-----------------	------

-47kg

1	Engrenius Maria	1997	SWE	46,78	77,5	82,5	90,5	82,5
2	Martinez Jennifer	1998	USA	46,66	70,0	77,5	82,5	70,0
3	Korobovskaia Iulia	1998	RUS	46,56	62,5	67,5	72,5	67,5
4	Stazayeva Vlada	1998	KAZ	46,02	60,0	65,0	70,0	65,0
5	Mularczyk Sylwia	2000	POL	46,24	45,0	45,0	50,0	45,0

-52kg

1	Shteinke Viktoria	1998	RUS	50,90	80,0	85,0	87,5	85,0
2	Zhurbina Anastassiya	1999	KAZ	51,38	75,0	82,5	87,5	82,5
3	Flis Emilia	1997	POL	51,60	57,5	62,5	62,5	57,5

-57kg

1	Kolesnik Daniela	1999	RUS	56,28	115,0-ws	120,0-ws	125,0-ws	125,0
2	Dyachenko Taissiya	2000	KAZ	55,70	100,0-ws	105,0	112,5	105,0
3	Firek Zuzanna	2000	POL	56,48	72,5	77,5	85,0	77,5
4	Kobayashi Nobuyo	1997	JPN	55,36	70,0	70,0	70,0	70,0
5	Bertilsson Antonia	1997	SWE	55,60	57,5	57,5	60,0	60,0

-63kg

1	Krueger Sonja-Stefanie	1999	GER	61,42	102,5	107,5	115,0	107,5
2	Rikhelgof Tatiana	1997	RUS	59,86	100,0	105,0	107,5	105,0
3	Ochirbat Orkhontuul	1997	MGL	61,46	85,0	85,0	102,5	85,0

-72kg

1	Espevik Anna Dorthea	1998	NOR	70,44	135,0	142,5-ws	148,0	142,5
2	Mikryukova Anna	1999	RUS	63,56	95,0	102,5	107,5	102,5
3	Kierstyn Amber	1998	USA	70,32	85,0	95,0	105,0	85,0
4	Zaborowska Nikola	1997	POL	68,84	62,5	65,0	70,0	70,0

-84kg

1	Nikolayeva Alevtina	1998	KAZ	82,72	80,0	87,5	95,0	87,5
2	Petrova Ksenia	1997	RUS	72,82	70,0	85,0	95,0	85,0

84+kg

1	Cope Cursti	1997	USA	91,26	130,0	140,0-ws	143,0-ws	143,0
2	Sexton KayDee	1997	USA	97,14	102,5	107,5	140,5	107,5

Nation (points)

1.	Russia	54	[12+12+12+9+9]	567,54 w.pts.
2.	U.S.America	38	[12+9+9+8]	392,10 w.pts.
3.	Kazakhstan	37	[12+9+9+7]	395,25 w.pts.
4.	Poland	29	[8+8+7+6]	294,38 w.pts.
5.	Sweden	18	[12+6]	182,32 w.pts.
6.	Norway	12	[12]	141,16 w.pts.
7.	Germany	12	[12]	117,71 w.pts.
8.	Mongolia	8	[8]	93,02 w.pts.
9.	Japan	7	[7]	83,11 w.pts.

Best Lifters of Subjuniors

PL.	Lifter	Nation	B.Weight	Result	W.Points
1	Kolesnik Daniela	Russia	56,28	125,0	146,50
2	Espevik Anna Dorthea	Norway	70,44	142,5	141,16
3	Dyachenko Taissiya	Kazakhstan	55,70	105,0	124,07

Juniors**-43kg**

1	Mularczyk Paulina	1994	POL	41,30	42,5	47,5	50,0	50,0
---	-------------------	------	-----	-------	------	------	------	------

-47kg

1	Burova Maria	1995	RUS	46,76	70,0	72,5	77,5	77,5
2	Sobczyk Aleksandra	1996	POL	46,20	62,5	67,5	70,0	70,0
3	Irifune Mitsuki	1994	JPN	46,44	60,0	65,0	70,0	70,0
4	Carlsson Malin	1994	SWE	45,82	60,0	60,0	65,0	65,0

-52kg

1	Sroczyk Marta	1995	POL	51,46	95,0	100,0	107,5	107,5
2	Mingot Audrey	1993	FRA	50,76	100,0	105,0	105,0	105,0
3	Melnikova Natalia	1992	RUS	51,44	95,0	100,0	105,0	100,0
4	Kettlewell Krystie	1996	USA	50,86	65,0	70,0	70,0	70,0
—	Warren Sabra	1996	USA	48,48	85,0	85,0	100,0	DSQ

-57kg

1	Birgevaiya Anna	1992	RUS	56,32	120,0	127,5	127,5	127,5
2	Fujiwara Nodoka	1992	JPN	56,40	110,0	110,0	122,5	110,0
3	Sroczyk Monika	1992	POL	56,70	100,0	100,0	122,5	100,0

-63kg

1	Hauksdottir Fanney	1992	ISL	60,96	140,0	140,0	145,5-wj	145,5
2	Gabidulina Tatiana	1992	RUS	62,84	112,5	120,0	125,0	125,0
3	Vilmar Matilda	1996	SWE	62,38	112,5	117,5	120,0	120,0
4	Ishibashi Akane	1993	JPN	60,60	100,0	107,5	110,0	110,0
5	Jokela Heli	1994	FIN	62,44	110,0	115,0	122,5	110,0
6	Tolegenova Aliya	1996	KAZ	62,52	102,5	110,0	122,5	110,0

7	Johansson Emma	1996	SWE	62,90	110,0	110,0	117,5	110,0
-72kg								
1	Putilina Anastasiia	1995	RUS	70,90	127,5	135,0	140,0	140,0
2	Tunroth Marie	1992	SWE	71,74	122,5	130,0	137,5	130,0
3	Kabiyeva Zhadyra	1992	KAZ	66,40	127,5	135,0	135,0	127,5
4	Wamnes Yvonne	1992	DEN	70,50	122,5	127,5	130,0	122,5
5	Pomrening Stacie	1992	USA	70,50	110,0	117,5	130,0	117,5
6	De Vries Maaike	1994	NED	69,82	115,0	120,0	120,0	115,0
-84kg								
1	Ivanova Elena	1992	RUS	83,50	147,5	147,5	157,5	157,5
2	Baranova Ekaterina	1992	RUS	83,58	150,0	150,0	160,0	150,0
3	Friden Clara	1992	SWE	82,36	110,0	117,5	130,0	130,0
4	Villegas Kristian	1996	USA	72,72	105,0	105,0	117,5	105,0
84+kg								
1	Koteles Maria	1992	HUN	145,06	165,0	165,0	185,0	165,0
2	Trinidad Desiree	1995	USA	84,02	147,5	152,5	165,0	152,5
3	Lovas Monika	1994	HUN	114,28	145,0	152,5	160,0	152,5
4	Walker Sarah	1996	USA	86,30	110,0	115,0	125,0	125,0

Nation (points)

1.	Russia	57	[12+12+12+12+9] 667,41 w.pts.
2.	Poland	41	[12+12+9+8] 420,22 w.pts.
3.	Sweden	36	[9+8+8+7+4] 581,45 w.pts.
4.	U.S.America	36	[9+7+7+7+6] 552,89 w.pts.
5.	Japan	24	[9+8+7] 345,36 w.pts.
6.	Hungary	20	[12+8] 250,58 w.pts.

Best Lifters of Juniors

PL.	Lifter	Nation	B.Weight	Result	W.Points
1	Hauksdottir Fanney	Iceland	60,96	145,5	160,24
2	Birgevaiya Anna	Russia	56,32	127,5	149,35
3	Ivanova Elena	Russia	83,50	157,5	140,87